

岡崎市議会議長

様

支出番号

会派名 チャレンジ岡崎・無所属の会

代表者名 江村 力



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

### 政務活動旅行報告書

令和 元年 10月 25日提出

活動年月日	令和元年 7月5日 (金)	
氏名	小田 高之	
用務先 及び 内容	1	用務先 愛知県名古屋市
	7月05日	内容 名古屋市子ども・若者総合相談センターについて
	2	用務先
	月 日	内容
	3	用務先
	月 日	内容
	4	用務先
	月 日	内容
備考		



チャレンジ岡崎・無所属の会

小田 高之

2019年10月25日

## 名古屋市子ども・若者総合相談センター 行政視察報告書

2019年7月5日(金)に名古屋市子ども・若者総合相談センター(<http://cowaka.net/>)へ行政視察へいきました。現在、ニートや「ひきこもり」といった社会的な困難を抱える子ども若者をどのように支援していくのかは、わたしたちの社会が抱えている大きな課題の一つです。それにも関わらず、支援にはそこへ至る経緯の複雑さや、解決へむけた方法の個別性が横たわり、既存の組織では難しいとされてきました。

このようななかで、視察先の子ども若者総合相談センターは着実な実績を残し、有効な方法を示す先進事例として注目をあびています。

当センターは「子ども・若者を対象とした相談のワンストップサービスセンターとして、...(中略)...ニート、ひきこもりなど、社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者の相談を行い、支援機関へつなぐ」ことを行っています。話しを伺うに、この「つなぐ」ということがとても大切だということがわかりました。

どういうことでしょうか。

困難を抱えた子ども若者は一人で自らが置かれた環境を変えること、自己を変革することが難しいとされます。そのようななかで、彼/彼女を外へと連れ出すには家族以外の他者の存在が必要です。それがセンターの相談者です。その方とともに、どこか他の場所へ、他の機関に。その繰り返しと、その時間が困難からの脱出のきっかけを生むこととなります。その先は、専門家により必要な支援を受けることができます。だから、まずは「繋がる」ことが必要であり、それを担うのが当該のセンターだということです。

岡崎市においても推定で3,700人、100人に1人の割合で「ひきこもり」の状態にある方々がいると言われています。本市においてもセンターの設置を検討する時期にきている。そう感じる次第です。